

愛知発

日本の休み方が

変わる！

星野リゾート
星野佳路代表

愛知県
大村秀章知事

「愛知発の休みの分散化を全国に広げ、国民運動にしたいですね。」

「愛知県の取り組みは言い続けてきた私の持論と同じです。地方から起こる休み方革命のようなものを感じます。」

対談の詳しい内容は、「Discover Japan」2023年7月号（6月6日発売）に掲載。
または「愛知県「休み方改革」プロジェクト」で検索（<https://www.aichi-yasumikata.jp>）

愛知県「休み方改革」プロジェクト 進行中！



家族が一緒に
休めるようにします。

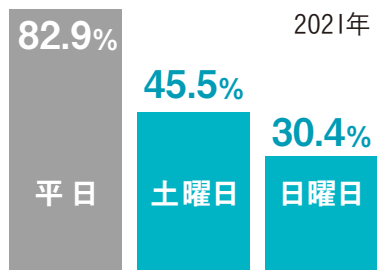


土日土曜日に休めない人たちが、

約2人日曜日に1人、約3人に1人います。

保護者が土日に働いている家庭では、
子どもと保護者が一緒に過ごす時間を取りづらい現状があります。
平日に働き、土日祝日など特定の日に一斉に休む現在の休み方は、
混雑して質の高い休暇を楽しむことができません。

有業者のうち、
平日・土日に働いている人の割合



出典：総務省「令和3年社会生活基本調査」

「休み方改革」に共に取り組む賛同企業・団体 募集中！

愛知県「休み方改革」プロジェクト

検索

お問い合わせ

愛知県政策企画局企画調整部地方創生課・観光コンベンション局観光振興課
電話 052-954-6353 | メール kanko@pref.aichi.lg.jp



愛知県「休み方改革」イニシアチブ とは…?

経済界・労働界・教育界とともに、「休み方改革」を通じ、
ワーク・ライフ・バランスの充実と生産性向上による
地域経済の活性化を目指す運動です。

1つ以上、実施していただける
県内企業・団体様は、
ぜひ、ご応募ください!

「休み方改革」につながる取組

年次有給休暇の取得率向上 及び連続取得の促進

- 子どもの休みに合わせた保護者の有給休暇取得の促進
- 「あいちウィーク」期間中の有給休暇取得の促進 等

多様な 特別休暇の導入 及び取得促進

会社独自に 祝休日を 平日に振替

夏季・冬季の電力需要の 抑制にあわせた 平日休業日の設定

ワーケーション*1や ブレジャー*2の促進

平日や閑散期の旅行需要の 喚起を目的とした 割引特典等の提供

愛知県「休み方改革」 イニシアチブのシンボルである 「あいちウィーク」の 協賛事業*3の実施

「県民の日学校ホリデー」*4 の創設・実施※

「ラーケーションの日」*5 (校外学習活動の日)の 創設・導入に向けた 環境整備※

※の項目は市町村教育委員会・私立学校・幼稚園・専修学校・各種学校のみが対象

*1 ワーケーションとは Work(仕事)とVacation(休暇)を組み合わせた造語。 *2 ブレジャーとは Business(ビジネス)とLeisure(レジャー)を組み合わせた造語。

*3 「あいちウィーク」の協賛事業とは「あいちウィーク(11/21～11/27)」期間中の施設入館料・利用料の割引や景品の提供、イベントの開催などの事業のこと。

*4 「県民の日学校ホリデー」とは 11/21～11/27までの「あいちウィーク」期間中の1日を学校ごとに「県民の日学校ホリデー」として指定する休業日のこと。

*5 「ラーケーションの日」とは Learning(学習)とVacation(休暇)を組み合わせた造語。自主学習活動であるため、愛知県では学校に登校しなくても欠席扱いとならない。

！ お願い

「県民の日学校ホリデー」を設けるなど、「あいちウィーク(11/21～11/27)」は愛知県の「休み方改革」の象徴的な期間です。
期間中は従業員、取引先の方が休暇を取得しやすい環境づくりへのご協力をお願い致します。

私たちが推進しています!

名古屋商工会議所
Nagoya Chamber of Commerce & Industry

一般社団法人 中部経済連合会

愛知県経営者協会

中部経済同友会

連合愛知

愛知県

教育は
未来へつなぐ
希望の輪
あいちウィーク

なぜ休み方改革を推進?

国民全体のワーク・ライフ・バランスの充実と
生産性向上による日本経済の活性化の実現を目指しています。

課題認識

従業員の休暇満足度の向上は、生産性や従業員の
定着率の向上に寄与します。一方、日本には、祝
休日は多くあるものの、国民が一斉に休みを取る
ため、質の高い休暇を楽しむことができません。

学校は祝休日が休みですが、企業の業種・職種や
規模によって、親が祝休日に仕事をしていることも
多く、家族と一緒に過ごす時間が足りず、
という現状があります。

日本の産業、特にサービス産業は、繁忙差が大きい
ことから、人員等の最適化が図りにくく、欧米に
比べて生産性が低いという現状があります。

問題提起

土日祝日などの特定の日に国民が一斉に休むの
ではなく、企業や個人単位で休日を柔軟に設定
できる環境をどのようにつくっていくか。

平均取得率6割程度に止まる有給休暇の取得が
進むよう、いかに環境整備していくか。

子どもの休みを契機に家族と一緒に休める、
家族の休みに合わせて子どもも活動できる仕組み
をどうつくっていくか。